

# 都美セレクション グループ展 2020

「都美セレクション グループ展」は東京都美術館が新しい発想によるアートの作り手を応援する展覧会です。今回は企画公募により選抜された3つのグループが実施します。当館のギャラリーA、B、Cのユニークな空間を舞台に、絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションなど様々なジャンルの作品を紹介します。

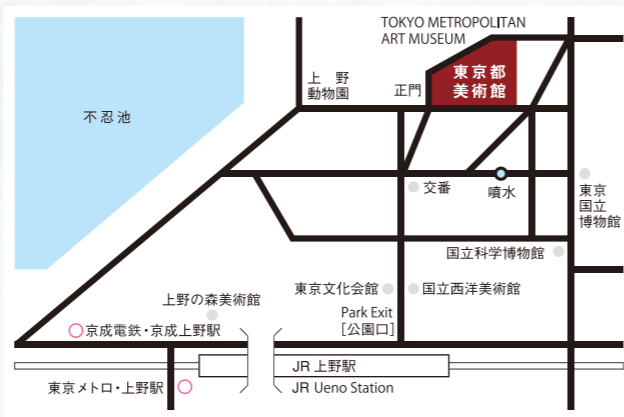
会期 2020年9月11日[金]—9月30日[水]  
 会場 ギャラリーA、B、C  
 開室時間 9:30～17:30(入室は閉室の30分前まで)  
 夜間開室 なし  
 休室日 なし  
 観覧料 無料  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、各展覧会の実施グループ

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36  
 Tel: 03-3823-6921  
<https://www.tobikan.jp>

### 交通のご案内

- JR 上野駅公園口より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分
- 京成電鉄 京成上野駅より徒歩10分

\*駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください。



文化でつながる。未来とつながる。  
THE FUTURE IS ART

Tokyo.Tokyo  
FESTIVAL

 東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

# 都美セレクション グループ展 2020

Group Show  
of Contemporary Artists  
2020

2020年9月11日[金]—9月30日[水]  
観覧料 無料



都市のみる夢  
A City Dreaming



東アジア絵画のなかへ  
—トランスする「日本画」の可能性  
Possibilities of Transformation  
of Nihonga

 東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

描かれたプール、  
日焼けあとがついた  
Sunburn After Swimming  
in the Painted Pool

# 描かれたプール、日焼けあとがついた

Sunburn After Swimming in the Painted Pool

GALLERY A

作品が鑑賞者／作家に作用する経験の比喻として「描かれたプール、日焼けあとがついた」というセンテンスを題しています。降り注ぐ光の形を捉えることができないように、作品にまつわる経験の内訳は容易に指し示すことはできません。けれどその手触りのようなものは、光による日焼けあとのように残っているはずで、事後的に発見される日焼けあと、その構造、痛み、消え方を思考することを通して、作品経験の輪郭を捉え直すことを試みています。

グループ名 **日焼け派** Sunburns

グループプロフィール 6人の作家は異なるテーマで作品を制作していますが、日常世界の問いを写し取り、使用するメディアが帯びる性質や制限とともに問いを拡張するという共通項を見出すことができます。その制作のあり方は、展覧会タイトルの2つの句のあいだ(「、」)に喚起される透明な領域を探求する行為であると考え、この集いを日焼け派と称することにしました。

出品作家 齋藤春佳\* 松本玲子 大木裕之 長田奈緒 高石晃 富井大裕  
(\*はグループ代表者。以下同じ)

助成 公益財団法人 朝日新聞文化財団



表面上・左|松本玲子《At the Window》2018 (参考作品)  
中|齋藤春佳《影の形が山》(部分) 2017 撮影=赤木遥 (参考作品)  
右|富井大裕《斜めの彫刻》2015 撮影=柳場大

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

HP <https://poolhiyake.wixsite.com/website>  
Twitter @poolhiyake  
Instagram @hi\_ya\_ke\_ha

# 都市のみる夢

A City Dreaming

GALLERY B

都市は人々の欲望によって創造されていますが、一方で人々は都市が叶える欲望にしがみつぎ、それらの本質に気づこうとしません。都市に住む私たちは、都市がみる“夢”の一部であり、その夢から目覚めることのない「都市のみる夢」の住民なのです。本展は、夢から目覚める場「寝室」を空間コンセプトとしたキュレーションのもと、東京の見えない本質を浮き彫りにする作品のインスタレーション「夢の蒐集」を披露します。

グループ名 **tmyc**

グループプロフィール 空間や場の社会的特性、あるいは歴史的な文脈から問いを投げかけるインスタレーションを制作する美術作家と、建築家、美術批評家や編集者といった多様な専門性をもつメンバーで構成されます。

出品作家 中島りか\* ミズタニタマミ  
桂川大 (空間構成) 中島由貴 (マネジメント・広報) 安井海洋 (執筆・批評)

助成 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人 朝日新聞文化財団

協賛  株式会社 **イノバックス**



表面中・左|中島りか《Private Property No Right of Way》2017  
撮影=Lina Chang (参考作品)  
右|ミズタニタマミ《OOとの恋愛 - 幻想微より》2020 (参考作品)

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

HP <https://tmyc2020.wixsite.com/-tobi>  
Twitter @tmyc2020  
Email [tmyc2020@gmail.com](mailto:tmyc2020@gmail.com)

# 東アジア絵画のなかへ—トランスする「日本画」の可能性

East Asian Painting: Possibilities of Transformation of Nihonga

GALLERY C

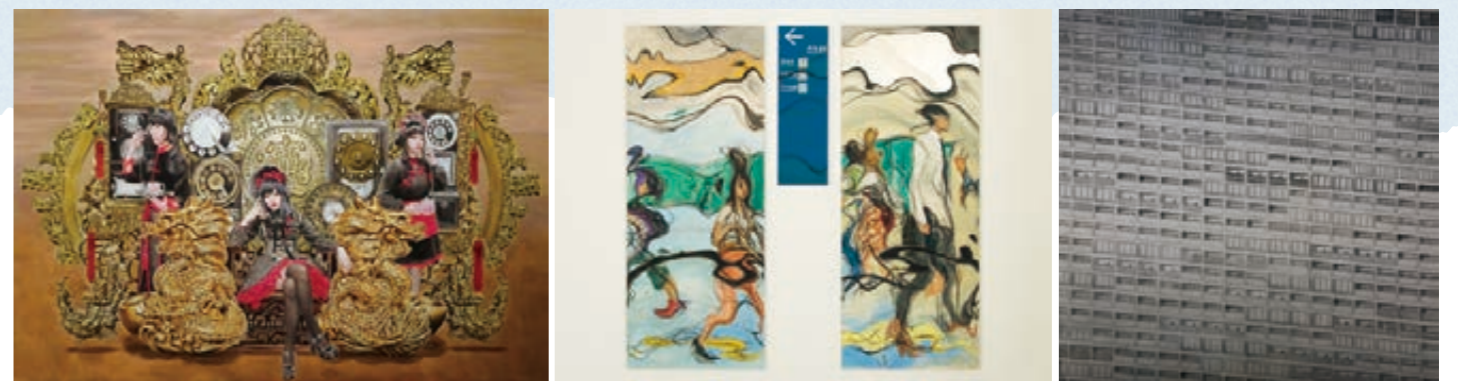
「日本画」を学ぶために、東アジアの各地域から多くの学生や芸術家たちが日本にやってきました。これまで「日本画」と呼ばれてきた絵画は、現在、彼らによって日本の外部へと開かれつつあります。「日本画」をめぐる収斂と拡散が表裏一体となるこの皮肉な現象をどう捉えればよいのでしょうか。同じ学窓に学んだ私たちは、この展覧会で、作品を通して「日本」「日本人」という枠組みを乗り越える「東アジア絵画」という新たな可能性を追究したいと考えています。

グループ名 **東アジア絵画研究会** Association of East Asian Painting

グループプロフィール 近年、美術大学の日本画コースには東アジアからの留学生が増えています。彼・彼女らと共に制作し価値観、文化の違いを超えて交流を深めていく中で、世界の各地域から学生たちが学びに来る「日本画」とは一体何なのだろうかという疑問が生まれ、このグループが結成されました。メンバーは韓国、台湾、中国、日本人作家の7名です。

出品作家 小林明日香\* 張静雯 森田舞 田澤苑実 蓮羊 吳逸萱 宮本京香

助成 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人 朝日新聞文化財団



表面下・左|宮本京香《緑の理》2020  
中|小林明日香《ENTRANCE》2020  
右|張静雯《容器》2019

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

Facebook <https://m.facebook.com/eastasiapainting2020>